

博士前期課程（看護学コース）

◆看護基礎教育領域の研究

- 講義・演習・実習における看護学生の学習活動に焦点を当てた研究
- 講義・演習・実習における教員の教授活動に焦点を当てた研究

◆看護卒後教育領域の研究

- 大学院生の学位論文作成過程の支援につながる研究
- 大学院の授業や研究指導の質向上につながる研究

◆看護継続教育領域の研究

- 看護職者に焦点を当て看護実践の質向上に結びつく研究
- 看護職者個々人の職業的発達を支援する研究



博士前期課程（看護実践学コース・看護管理プログラム）

- 自組織の看護職者のニーズを反映した教育プログラムの立案
- 看護職者の教育的機能向上を支援する研究
- 看護実践・教育の質向上や看護職者個々人の職業的発達に結びつく研究
- 看護理論を活用した看護の組織的推進など



博士後期課程

博士後期課程は、博士前期課程で修得した研究能力を基盤に、自立して研究活動を行うために必要な高度な研究能力の獲得を目指します。

以下に、修士論文の研究課題をさらに発展させて取り組んだ博士論文の研究課題をご紹介します。

修士論文テーマ：看護師が知覚する「働きやすさ」を決定づける基準
 ー病院に就業するスタッフ看護師に焦点を当ててー

博士論文テーマ：病院に就業するスタッフ看護師のための職場の「働きやすさ」
 評価尺度の開発と有効性の検証

修士論文テーマ：看護学実習における学生の行動に関する研究

博士論文テーマ：看護学実習における学生の「行動」と「経験」の関連
 ー行動概念と経験概念のメタ統合を通してー



看護教育学は、看護学生と看護職者一人ひとりの発達を支援することを通して、患者さんにより良い看護を提供することを目指す学問です。

皆さんの関心が「看護学生や看護職者の発達」にあれば、是非、この研究領域を訪ねてください。皆さんの関心に合った研究課題を一緒にみつけましょう。

